

2. 関西におけるメガリージョンの考察

2-1 関西におけるメガリージョンの考察

本章では、関西のメガリージョンとしての優位シナリオを構築するにあたって、識者の既往分析を通じて関西メガリージョンの強みを確認する。

関西のメガリージョンの経済力・クリエイティビティは世界でも高いレベルと推定される

1) 関西のメガリージョンの世界ランク

まず、世界のメガリージョン40の中での関西のメガリージョンの位置づけを確認する。フロリダ氏の「Who's Your City ?」では、関西単独の指標は示されておらず、大阪～名古屋圏という、超広域のメガリージョンでの指標が提示されている。そこでは、人口規模で14位であるが、経済活動で5位と上位にランクされており、さらに、イノベーション（特許登録数）では世界で7位、スター科学者では22位と比較的高ランクにつけている。以上より推測となるが、関西のメガリージョンは、経済力やクリエイティビティは世界の中でも高いレベルにあると考えられる。

引用：「Who's Your City ?」リチャード・フロリダ氏

Name (Ranked by LRP)	Population (Millions)	Population Rank	経済指標 LRP (\$Billions)	イノベーション/ 特許登録数 Innovation/ Patents (Rank)	スター科学者 Star Scientists (Rank)
Greater Tokyo	55.1	4	2,500	2	24
Bos-Wash	54.3	5	2,200	8	2
Chi-Pitts	46.0	9	1,600	9	14
Am-Brus-Twerp	59.3	3	1,500	22	18
Osaka-Nagoya	36.0	14	1,400	7	22
Lon-Leed-Chester	50.1	6	1,200	25	10
Mill-Tur	48.3	7	1,000	34	23
Char-lanta	22.4	18	730	16	9
So-Cal	21.4	22	710	13	4
Frank-Gart	23.1	17	630	21	12
Barce-lyon	25.0	16	610	24	20
Tor-Buff-Chester	22.1	19	530	19	7
Seoul-San	46.1	8	500	6	32
Nor-Cal	12.8	28	470	3	1
So-Flo	15.1	25	430	17	17
Fuku-Kyushu	18.5	24	430	23	19
Paris	14.7	26	380	4	16
Dal-Austin	10.4	30	370	14	13
Hou-Orleans	9.7	32	330	15	5
Mexico City	45.5	10	290	35	32
Cascadia	8.9	33	260	10	3
Rio-Paulo	43.4	12	230	32	32
Hong-Zhen	44.9	11	220	28	31
Sapporo	4.3	37	200	27	32
Vlenna-Budapest	21.8	21	180	26	29
Tel Aviv-Amman-Beirut	30.9	15	160	31	21
Prague	10.4	29	150	12	25
Buenos Aires	14.0	27	150	33	32
Denver-Boulder	3.7	40	140	5	6
Phoenix-Tucson	4.7	36	140	11	15
Shanghai	66.4	2	130	30	32
Taipei	21.8	20	130	36	30
Lisbon	9.9	31	110	36	28
Beijing	43.1	13	110	29	32
Delhi-Lahore	121.6	1	110	36	32
Glas-burgh	3.8	39	110	18	8
Berlin	4.1	38	110	1	11
Singapore	6.1	34	100	36	27
Madrid	5.9	35	100	20	26
Bangkok	19.2	23	100	36	32

Source: Data by Tim Gulden; analysis and rankings by Charlotta Mellander. For full sources and methodology see, Richard Florida, Timothy Gulden, and Charlotta Mellander, "The Rise of the Mega-Region," Cambridge Journal of Regions, Economy, and Society, 1, 1, 2008.

Note: Ranking based on the 40 mega-regions with LRP (light-based regional product) of \$100 billion or more. Rankings for innovations and star scientists are adjusted for population.

(表出典：リチャード・フロリダ著「Who's Your City」)

表は、世界のメガリージョン40について、順位付けをしたものである。各メガリージョンはLRPという経済活動の指標に基き並んでいる。人口で1位の地域はデリー～ラホール地域。経済活動の1位はグレーター東京。特許登録数の1位はベルリン地域。スター科学者の数は1位が北カリフォルニアという結果になっている。

2章

関西におけるメガリージョンの考察

2-1 関西におけるメガリージョンの考察

成長する関東に対して、 関西は成熟型の方向性

2) 関西のメガリージョンの人口推移

次に、関西のメガリージョンの人口推移を確認する。

下記のグラフを見ると、大阪市と同人口の東京都心12区とを比較した人口推移はほぼ同様の形になっている。一方で、関西圏の人口を関東圏と比べると、かつては増加傾向が同じであったが、高度成長期以降一貫してその差が拡がるとともに関西圏の人口はここ30年程度の間、横ばいの状況が続いている。

大阪経済が停滞していると言われているが、その理由は大阪市の人口が減っているということに必ずしも起因しているとは言えず、大阪単独の捉え方だけでは状況把握として不足している。重要なのは都市圏＝メガリージョンという捉え方をすることである。

こうした状況を踏まえると、関西のメガリージョンとしての復権シナリオとしては、人口増加をベースにした経済成長ではなく、関西が有するゆとりと多様性のある住み心地の良い「成熟型メガリージョン」を目指す方向性が考えられる。

「成熟型」の定義

「量的成長」より「質的向上」、「熱気」よりは「ゆとり」を社会目標とする考え方。

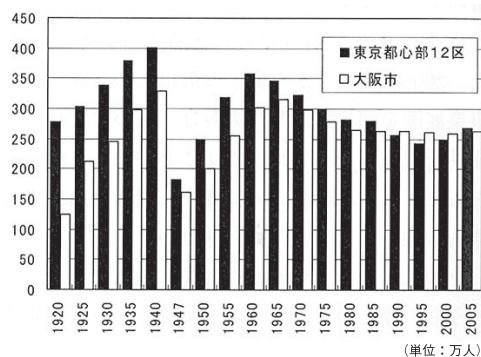
キーワードは「風格」「大人」「多機能共生」など

(参考：『成熟都市の活性化－世界都市から地球都市へ』成田孝三著)

引用：「基礎指標で見る大阪VS東京」
大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授 濑田史彦氏

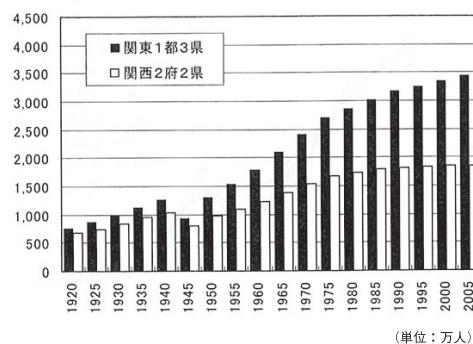
大阪市と東京都心部12区の人口推移

・大阪市と東京都心12区の人口推移はほぼ同様



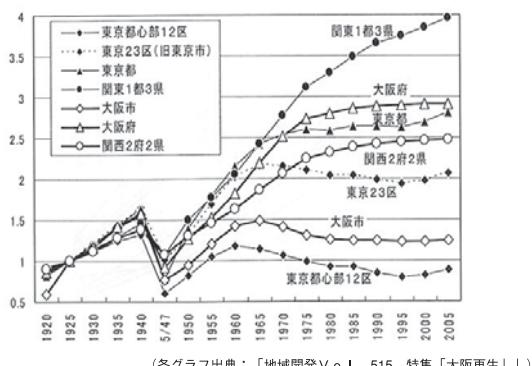
関東圏と関西圏の人口変動

・関東圏と関西圏は大きく異なる



1925年を基点とした関東と関西の人口増減

・人口増加が著しいのは関東



各グラフを確認すると、かつては都市圏レベルで関東と遜色の無かった関西が、完全に関東の後塵を拝していることが分かり、貿易や、また循環的に人口や総生産に大きくその差が現れてきていると推察される。

※1 東京都心部12区とは、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、渋谷区、豊島区

※2 関東1都3県は東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県
関西2府2県は大阪府、京都府、兵庫県、奈良県

2章

関西におけるメガリージョンの考察

2-1 関西におけるメガリージョンの考察

関西のメガリージョンのクリエイティブクラスは良好な郊外生活圏に偏在

3) 関西のメガリージョンの知識労働者の所在

世界的なメガリージョン間の競争のなかでは、今後の成長セクターとしてのクリエイティブ産業を牽引するクリエイティブクラスをいかに獲得するかがポイントとなる。

現状で関西のメガリージョンにおけるクリエイティブクラスはどこにいるかを把握し、その環境をより強化する必要もある。

日本政策投資銀行小森正彦氏は、全国の市区町村単位における人口に占める大学・院卒業者の割合と専門的・技術的職業従事者の割合について順位付けを行い分析している。

結論としては、関西のメガリージョンの中では芦屋市や生駒市など周辺の良好な郊外生活圏にクリエイティブクラスが多く居住していることが分かる。また、大阪市の順位は政令指定都市 17 市のうち、14 位と必ずしもクリエイティブクラスの割合は高くない都市である。

関西のメガリージョンで見た場合、クリエイティブクラスは都心より郊外に偏在していることが分かるが、その背景として、郊外の良好な生活環境や、郊外と都市を繋ぐ交通機関の発達が後押ししていると考えられる。

関西のメガリージョンの都市力強化のためには、こうした既存の良好な郊外の生活拠点都市において大学や学術機関と連携した科学研究産業・文化創造産業の育成も有効な手法である。

引用：「アジアの都市間競争」日本政策投資銀行 小森正彦氏

表は、全国の市区町村単位における人口に占める大学・院卒者の割合と専門的・技術的職業従事者の割合について順位付けを行ったものである。また、定性的側面についても調査しており、知識労働者は、大都市近郊で交通利便性に優れ、生活環境が良好、文化的で、好印象の都市を選択している。と分析している。

全国3,368市区町村のうち上位30位以内の市区町村 (位)					政令市ののみの順位						
総合単位	市区町村	大学・院卒業者の順位	専門的・技術的職業従事者の順位	参考：外国人の順位	総合（政令市順位）		大学・院卒割合	順位（全国784市）	専門的・技術的管理的職業従事者割合	順位（全国784市）	単純%
1	武蔵野市	2	5	402	1	横浜市	25.2	28	20.6	31	45.8
2	文京区	5	6	89	2	川崎市	25.4	27	20.2	36	45.6
3	国文寺市	7	4	633	3	さいたま市	23.6	38	18.3	94	41.9
4	川崎市麻生区	4	11	903	4	千葉市	21.8	55	18.8	74	40.6
5	小金井市	6	10	430	5	神戸市	19.7	76	18.7	75	38.4
6	横浜市青葉区	1	15	779	6	福岡市	19.8	75	18.3	94	38.1
7	鎌倉市	10	12	955	7	仙台市	18.7	89	19.1	64	37.8
8	国立市	15	9	336	8	広島市	19.1	84	17.4	136	36.5
9	渋谷区	13	13	45	9	京都市	18.0	98	18.0	105	36.0
10	杉並区	12	16	289	10	名古屋市	19.0	86	16.5	189	35.5
11	川崎市多摩区	20	8	585	11	札幌市	14.5	180	17.7	119	32.2
12	世田谷区	9	20	395	12	堺市	14.7	175	16.2	213	30.9
13	横浜市港北区	14	23	511	13	北九州市	12.1	281	16.8	171	28.9
14	目黒区	11	27	135	14	大阪市	13.4	225	15.2	304	28.6
15	芦屋市	3	39	233	15	静岡市	13.8	214	14.7	367	28.5
16	多摩市	25	18	659	16	新潟市	11.8	297	15.9	241	27.7
17	三鷹市	32	21	432	17	浜松市	12.3	273	13.9	470	26.2
18	木津町	37	19	649							
19	逗子市	19	37	1,275							
20	京都市左京区	51	7	72							
21	小平市	34	25	247							
22	名古屋市昭和区	27	34	142							
23	新宿区	33	28	11							
24	川崎市中原区	44	17	389							
25	生駒市	21	43	894							
26	調布市	30	35	379							
27	日野市	39	29	817							
28	狛江市	29	42	789							
29	葉山町	28	44	1,005							
30	つくば市	76	1	55							

三都間の競争に加えて、メガリージョンとしての統括した「一体的経営」が必要

4) 関西のメガリージョンの持つ競争力

関西のメガリージョンの中では大阪、京都、神戸の各々でバイオ産業をはじめとする先端産業振興やインフラの整備が実施されてきている。こうした動きは三都各々が競争力をつける上で必要なものである。しかし、一方で三都の中で、こうした施策やインフラ整備について連携が取れているとは言い難い。むしろ、三都で競いあっている状況も見られる。

しかし、1章で見たように世界のメガリージョン間の競争が激化すると予想される中、3つの都市が各々の個性を競い合うだけで、世界に対して統合性に欠いたバラバラな施策を実施していくには、三都が持つ優位性を十分に発揮できない。

関西のメガリージョンの競争力を高めるためには、三都が連携し、メガリージョンとして統合したマーケティングや戦略立案をする「一体的経営」の視点が必要である。

引用：「メガ・リージョンの攻防」 中京大学経済学部教授 細川昌彦氏

名古屋圏をグレーター・ナゴヤと命名し、統合的な広域組織の組成をリードしてきた細川昌彦氏は近著「世界的な都市間競争の勝ち残り戦略 メガ・リージョンの攻防」で、メガリージョンにクリエイティブ人材と企業を呼び込む為の方法を述べている。

関西のメガリージョンについては、以下の産業やインフラの事例を参考に、「三都物語」として京阪神の競争力を高めるべきであると示唆している。

- ・「クール・ジャパンのメッカ」としての文化ブランド力：「本物の日本」「日本ブランド」の集積地
- ・日本食文化、上方落語を海外に発信せよ：「日本料理アカデミー」「食の大学院」「英語落語」
- ・三都が「毛利の3本の矢」になれるか：大阪が国際ビジネス交流拠点。神戸・京都は会議後の過ごし方で機能役割分担。
- ・バイオ産業と空港・港湾が広域連携の試金石：地域全体として相乗効果を発揮する全体戦略が重要。「バイオメディカルクラスター構想」。3空港の連携。阪神港。
- ・関西の復権に必要なのは、かつての「大阪の気概」：大阪の特色である開放性、寛容性が外から人を引き寄せ、地域の活力となっていた。
- ・「アジアの知の交流拠点」をめざせ：スーパーコンピューター、世界的トップレベル研究拠点（京大、阪大）、アジア太平洋研究所構想

関西のメガリージョンに潜在するクリエイティビティの強みを生かすべき

■関西のメガリージョンのSWOT分析

関西のメガリージョンの優位シナリオを構築する際、関西が持つ「強み」「弱み」を確認する必要がある。また、外的要因である「機会」と「脅威」についても整理し、SWOT分析を行うことで、より効果的なシナリオ構築の方向性を確認する必要がある。

SWOT分析の「強み」「弱み」については関経連が既に分析・提言してきた内容を整理している。

各項目を整理することで、大きく次のことが言える。関西メガリージョンの強みは「クリエイティビティが潜在」していることであり、弱みは「対外情報発信が不足」していることである。その各々について機会と脅威を背景に、優位シナリオを抽出する。

		Opportunity (機会)	Threat (脅威)
Strength (強み)	クリエイティビティが潜在	クリエイティビティを最大限に発揮	クリエイティビティで差別化
	<ul style="list-style-type: none"> 多様な産業集積 オンライン技術を持った中堅・中小企業から、次世代・先端技術に強みを持つ企業、大学、研究機関まで幅広く存在 新商品開発力 進取の気性溢れる人材。即席めん、プレハブ住宅など生活者目線のものづくり 知と文化の集積 優れた大学・研究機関の集積 世界遺産などの有形・無形の文化集積 魅力的都市群 大阪、神戸、京都など個性ある都市群と、近接する豊かで多様な自然 稠密なネットワーク 都市と自然を繋ぐ稠密な鉄道・交通ネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 海外における日本文化の関心の高まり 東アジアの富裕層増加に伴う観光客増加 <p>クリエイティビティの時代</p> <th> <ul style="list-style-type: none"> グローバル化におけるメガリージョンの台頭 空港、港湾における関西の地盤沈下 <p>中国メガリージョンの勃興</p> </th>	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化におけるメガリージョンの台頭 空港、港湾における関西の地盤沈下 <p>中国メガリージョンの勃興</p>
Weakness (弱み)	対外情報発信が不足	情報発信・誘致活動強化	関西ならではを強調
	<ul style="list-style-type: none"> 企業や人を集める努力が不十分 企業統合による本社機能の流出 治安面の悪さや住環境の悪いイメージ定着 技術力や創造性を活かしきれていない 企業と研究機関の連携が不十分 知名度が低い 地域としての情報発信力が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> メガリージョンの外への総合的プロモーションが必要 地域連携をベースに推進する企業や人を集めることで情報発信力強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会、グローバルな人材獲得競争の中での人材戦略が必要

関西のメガリージョンは「EUタイプ」の多核性を生かすべき

■世界のメガリージョンのタイプ分け

関西のメガリージョンの内部要因分析だけでなく、本研究会のテーマである「国際」という視点に立ち、世界の他のメガリージョンとの比較による関西のメガリージョンの分析から、優位シナリオを検討してみたい。

世界のメガリージョンと呼ばれている都市、地域を分析、類型化を試みた。（分析については次頁及び参考資料参照）

関西のメガリージョンは規模ではグレータータイプとしての東京都市圏やロンドン都市圏などに匹敵すると考えられる。ただ、グレータータイプの特徴は、圧倒的な世界都市が中心に位置し单心型のメガリージョンとなっている点であるが、関西のメガリージョンは大阪、神戸、京都という個性ある3都市と、それをとりまく都市群があることから、むしろEUタイプのメガリージョンに類似している。

EUタイプのメガリージョンは複数の都市がネットワークされた多核型都市圏であり、都市間で機能分担しつつメガリージョンとしては国際的な競争力を有している。

関西のメガリージョンも独自の多核性を生かすべきであろう。

タイプ	グレータータイプ 	中国タイプ 	EUタイプ 	都市国家タイプ 	郊外タイプ 	関西のメガリージョン
特徴	人口規模、産業集積で圧倒的な世界都市が広範な地域の中心に位置し、エリアを拡大し続けている単心型都市圏。世界都市は金融中心としての機能だけでなく、文化創造機能も高い。周辺都市は主に郊外生活機能を補填。	後進国において、エリア面積・人口ともかなりの広範囲に拡がる都市圏。突出した中核都市が都市圏の成長をリード。中核都市は、国家戦略としての海外人材の受皿になっており、クリエイティビティの核となりつつある。一方で、社会的・地域的格差、環境問題など、集積の不経済を伴う可能性を有する。	複数の都市がネットワークされた多核型都市圏。各都市は独自の個性とサステナビリティを追求しつつ都市間では機能連携・分担を行っている。地域のもつ個性や産業クラスターを強化することで都市間競争での存在感を示している。	エリア面積・人口規模ともに小さく、周辺都市との連携もないが、グローバルなネットワークを活用して多様な分野で高付加価値を創造する都市。国際的競争力のある大学誘致や高度専門人材の受入を推進。	明確な中核都市がない一方、国際競争力のある大学を中心にグローバルなネットワークを活用して得意分野での産業クラスターを形成し、都市間競争で高位につける。	大阪・京都・神戸各々が特徴を有する多様性あるモザイク都市圏
都市圏事例	東京 ロンドン ワシントン	環渤海（北京、天津、大連） 珠江デルタ（香港、深セン、広州） 長江デルタ（上海、杭州、南京）	ランドスラット（アムステルダム、ロッテルダム、ハーグ） エレスンド（コペンハーゲン、マルメ） フランクフルト・ラインマイン	シンガポール ドバイ (香港)	シリコンバレー (サンフランシスコ湾地域)	
規模	面積：直径150～200km 人口：1,000～3,000万人	面積：直径200～600km 人口：数千万人	面積：直径100km前後 人口：500万人前後	直径：直径数十km 人口：100～500万人	面積：直径100km前後 人口：100～500万人	面積：直径100km 人口：1,900万人
国際空港	成田、ヒースロー	北京、香港、上海	スキポール、フランクフルト	チャンギ、ドバイ、香港	-	関西国際空港
主要産業	国際金融、IT産業 文化、芸術、情報産業	労働集約型産業 ハイテク研究拠点	金融（フランクフルト、ロッテルダム） 製薬（コペンハーゲン）	金融、観光産業 ハイオ（シンガポール）	IT、ハイテク産業	医療産業、ハイテク最先端エレクトロニクス
大学	東京大学、ロンドン王立大学、ワシントン大学	北京大学、精華大学 香港大学	-	主要大学少ない	スタンフォード大学 カーネギーメロン大学	京都大学、大阪大学
観光	ロンドンの観光集客 1,600万人／年	上海、北京の観光集客 400万人前後／年	アムステルダムの観光集客 400万人／年	シンガポールの観光集客 1,000万人／年	-	-
コンベンション	東京ビッグサイト展示8万m ²	上海展示10万m ² 広州展示12万m ²	メッセ・フランクフルト展示32万m ²	シンガポールエキスポ 展示10万m ²	-	インテックス大阪展示7万m ²

2-3 世界の主要メガリージョン比較

メガリージョンにはさまざまなタイプがあり、それぞれ独自の強みを発揮

(参考資料) 世界のメガリージョンの比較

下記表は横軸に世界のメガリージョン、縦軸に評価項目を記載している。主に細川氏著「メガリージョンの攻防」に記載のあった都市圏を横軸に整理し、競争力強化に必要となる、インフラ、産業、大学、観光、コンベンションなどについて定量・定性的に比較している。

表を作成し概観すると、アジアの都市圏（中国メガリージョン）のように、全ての項目について量的に圧倒しているメガリージョンもあれば、大学や産業といった得意な項目のみで突出したシリコンバレーがあるなど、一口にメガリージョンといつても様々なタイプがあることが分かる。また、各々のメガリージョンは独自の強みを発揮している。

	グレーター・タイプ				中国・タイプ			EU・タイプ			都市国家・タイプ		郊外・タイプ	関西のメガリージョン
	東京大都市圏	グレーター名古屋	グレーター・ロンドン	グレーター・ワシントン	環渤海	長江デルタ	珠江デルタ	フランクフルト・ラインマイン	ランドスラット	エレンド	シンガポール	ドバイ	シリコンバレー	
中核都市	東京	名古屋	ロンドン	ワシントンD.C.	北京 天津 大連	上海 蘇州 杭州 南京	香港 マカオ 深セン 広州	フランクフルト ダルムスラット マイツ	アムステルダム ハーヴ ロッテルダム ユトレヒト	コペンハーゲン マルメ	—	—	マウンテンビュー サンノーベル サンタクラタ	大阪 京都 神戸
面積 (直径)	13,754km ² ※1	約2万km ² (直径200km)	10,545km ² ※2	16,000km ² ※3	約20万km ² (直径600km)	約7万km ² (直径300km)	約4万km ² (直径200km)	約0.8万km ² (直径100km)	約0.8万km ² (直径100km)	約0.8万km ² (直径100km)	700km	4,114km ² ※5	4,800km ² ※6	11,169km ² ※1
人口	3,461万人 ※1	874万人 ※2	1,200万人 ※3	630万人 ※4	22,570万人 ※4	13,800万人 ※4	12,250万人 ※4	550万人	600万人	250万人	450万人	120万人 ※5	250万人 ※6	1,864万人 ※1
空港 (乗降客数) ※7	東京国際空港(羽田) (6,680万人) 成田国際空港 (3,550万人)	中部国際空港 (※8 1,170万人)	ヒースロー空港 (6,800万人) ガトウイック空港 (3,520万人)	ワシントン・ダレス国際空港 (※9 2,470万人) ロナルド・レーガン・ワシントン・ナショナル空港 (※9 1,870万人)	北京首都国際空港 (5,360万人)	上海浦東国際空港 (2,400万人)	香港国際空港 (4,700万人)	フランクフルト・アム・マイン空港 (5,410万人)	スキポール国際空港 (4,780万人)	コペンハーゲン国際空港 (※9 2,140万人)	チャンギ国際空港 (3,670万人)	ドバイ国際空港 (3,430万人)	ミネタ・サンノゼ国際空港 (※9 1,070万人)	大阪国際空港(伊丹) (※8 1,680万人) 関西国際空港 (※8 1,650万人)
港湾 (コンテナ取扱数) ※10	東京港(360万TEU) 横浜港(290万TEU) ※7	名古屋港 (220万TEU)	—	—	天津港 (480万TEU)	上海港 (1800万TEU)	香港港(2240万TEU) 深セン港(1620万TEU) 広州港(470万TEU)	—	ロッテルダム港 (930万TEU)	—	シンガポール港 (2320万TEU)	ドバイ港 (760万TEU)	—	大阪港(170万TEU) 神戸港(180万TEU) ※8
主要産業 ※11	国際金融 製造業 文化・芸術、情報産業	自動車、航空機、電気・電子、素材、工作機械産業	金融センター(EU) 観光・情報産業 デザイン産業(クール・ブリタニア)	IT産業(オラクル) 航空機産業(ロッキード)	ハイテク研究開発(中関村 =中国シリコンバレー)	金融センター(東アジア) サービス産業 ハイテク産業	ハイテク研究開発 金融センター(東アジア) 高度サービス産業 労働集約型産業(総合・雑貨) 電子・電気組み立て産業 自動車産業	国際金融 自動車産業(研究開発) 見本市ビジネス	産業機能分担 商業・金融 海運 物流	製薬産業	金融センター(東アジア) ハイオペティカル(ハイオ・ボリス) 電子(HD)産業 見本市ビジネス	金融センター(中東) 流通、観光	IT産業 ハイテク産業	医療産業 ハイオ産業 ハイテク・最先端エレクトロニクス
大学 ※12	東京大学(17位) 東京工業大学(90位)	名古屋大学(112位)	ロンドン王立大学(5位) ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン(9位) キングス・カレッジ・ロンドン(24位) ロンドン・スクールオブ・エコノミクス(59位)	ワシントン大学(55位) メリーランド大学(79位) バージニア大学(110位)	北京大学(36位) 精華大学(40位)	復旦大学(85位) 南京大学(125位)	香港大学(18位) 香港中文大学(38位) 香港科技大学(53位)	—	アムステルダム大学(48位) デルフト工科大学(63位) ライデン大学(84位) ユトレヒト大学(89位)	コペンハーゲン大学(93位)	シンガポール国立大学(33位) 南洋理工大学(69位)	—	スタンフォード大学(19位) カーネギー・梅ロン大学(20位)	京都大学(25位) 大阪大学(46位)
観光集客都市 ※13	東京150万人(51位)	—	ロンドン1,560万人(1位)	ワシントンDC106万人(63位)	北京360万人(22位)	上海430万人(13位) 杭州160万人(49位)	香港810万人(13位) マカオ300万人(27位) 広州250万人(32位)	—	アムステルダム390万人(18位)	コペンハーゲン140万人(54位)	シンガポール950万人(4位)	ドバイ610万人(7位)	—	—
主要観光資源 ※14	新宿・銀座・浅草・秋葉原 東京ディズニーランド お台場	名古屋城、トヨタテクノミュージアム ホワイトハウス、リンカーン記念館	国際会議場、ウェストミンスター寺院、タワーブリッジ ロンドンアイ、大英博物館、テート・モダン	世界遺産(故宮博物館、天壇、万里の長城) 天安門広場	上海外灘(バンド)、浦東、豫園 世界遺産(蘇州)	ピクアリービック夜景 香港ディズニーランド 屋台街(女人街)	ゲート博物館、モダンアート美術館	アンヌ・フランクの家、ゴッホ美術館	チボリ公園、人魚姫の像	オーチャードロード エスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ リゾートワールド(2010年)	シティセンター、ドバイ 博物館、アーラ(船)、パークジュメイラ	サンノゼ美術館 グリートアメリカ(テーマパーク)	京都・奈良 世界遺産(高野山など) 食文化USJ	
超級ホテル立地 ※15 () 内は数	リッツ・カールトン パークハイアット フォーシーズンズ(2)	—	セントレジス フォーシーズンズ(2)	リッツ・カールトン(2) パークハイアット セントレジス	リッツ・カールトン(2) パークハイアット セントレジス フォーシーズンズ	リッツ・カールトン(3) フォーシーズンズ(2) コンラッド	—	—	セントレジス フォーシーズンズ コンラッド	リッツ・カールトン(2) パークハイアット	フォーシーズンズ	リッツ・カールトン セントレジス(2009年)		
メッセ、コンベンション ※16	東京ビッグサイト(8) 幕張メッセ(7.2) パシフィコ横浜(2.0)	名古屋国際展示場(3.3)	エクセル・ロンドン(9)	ワシントンコンベンションセンター(6.7)	北京中国国際展覧中心(6) 天津滨海国際会展中心(4.4) 杭州国際会議展覧中心(6)	上海光大会展中心(3.3) 上海新国際博覽中心(10) 蘇州國際博覽中心(7) 南京國際展覽中心(4.4) 杭州中國出口商品交易會琶洲展覽館(13)	香港亞洲國際博覽館(6.6) 深セン会展中心(10.5) 広州中國出口商品交易會流花路展示館(12) 広州中國出口商品交易會琶洲展覽館(13)	メッセ・フランクフルト(32)	ライ・アムステルダム国際展示会場(7.3)	ベラ・センタ(11.5)	シンガポールエクスポ(10)	ドバイ世界貿易センター(4.3) ドバイ・エグジビション・ワールド(計画、12)	—	インテックス大阪(7) 神戸国際展示場(1) 京都産業会館(0.5)
補足 ※17	グローバル・フレイヤー 東アジアのショッピング モール	モノづくりのメッカ グレーター・ナゴヤ・イニシアチブという推進組織を組成し統一的マーケティング ロスなどの再開発活発化 クリエイティブ産業振興	世界都市の代表 オリンピックやキングスクロスなどの再開発活発化 クリエイティブ産業振興	19の自治体が一体的に 地域マーケティングを取り組むGWI(グレーター・ワシントン・イニシアチブ)を発足させる	北京市は中国博士号の2/3 集積 理工系人材豊富	上海市は世界の金融センター 貿易、物流に優位性 外企企業誘致に積極的で 「世界の工場」として発展 内陸部は知的人材不足	ロンドンに次ぐ欧州の国際金融拠点 インターナショナルスクール8つ 世界最大のモーターショーを開催	多心型のメガリージョンの事例 歐州の心臓部という地理的に優位な立地を生かし 人と企業を海外から呼び込む	国境を超えた都市圏の事例	華人ネットワークのハブ 多様な民族性 国家戦略によるバイオ産業育成を進め医療ハブを目指す	ポスト石油を脱んだ観光・金融・物流拠点を目指す	人的ネットワークに基づく知識、情報が集積 中国人、インド人が多い スタンフォード大学が企業との共同研究・人材供給に役割を果たす	多様性のあるモザイク地域 クール・ジャパンのメッカ	

*横軸の都市圏は「メガ・リージョンの攻防」(細川昌彦氏著 東洋経済新報社)に紹介のあった都市圏を中心に選択し、関経連で視察に行ったドバイ、ロンドンを追加した。
※縦軸の各項目はHPなどから得られる資料をもとに作成。

未: 未調査

—: 該当無し

出典	※1 総務省統計局 ※2 Wikipedia(通勤圏) ※3 GreaterWashington.HP ※4 JETRO「ジェトロセンター2005.2」 ※5 在ドバイ日本総領事館HP ※6 シリコン・バレーCommunity FoundationHP	※7 ACI(Airport Council International) HP ベスト30 2007(ランク外は※8・9より) ※8 國土交通省HP 2006年度HP ※9 各空港HP ※10 港湾: 通商白書2007年版 ベスト30 (ランク外は※8より)	※11 主要産業: 「メガ・リージョンの攻防」より (ロンドン・ランドスラット・ドバイ除く) ※12 大学: (The Times 2007年9月) ベスト130 ※13 観光集客都市: Euromonitor2006 トップ150 ※14 主要観光資源: HP世界の歩き方などより	※15 超高級ホテルは世界の大規模ホテルチェーン(マリオット・インター ナショナル、ハイアットホテルズ&リゾーツ、スターウッドホテル& リゾーツ、ヒルトン・ファミリー、フォーシーズンズ・ホテル)の トップ・ブランドを選択 ※16 メッセ、コンベンション: JETRO HPより ※17 補足: 「メガ・リージョンの攻防」より(ロンドン・ドバイ除く)
----	---	---	---	---

関西のメガリージョンにはそのクリエイティビティ
および多核性という特徴を生かしつつ、
情報発信力を高める戦略立案がふさわしい

研究会として行った関西におけるメガリージョンの考察のまとめを下記に示す。

● [現状認識]

関西のメガリージョンの経済力・クリエイティビティは、現状でも世界でも高いレベルにあると推定される。



● [創造性を顕在化させる]

関西のメガリージョンには潜在的なクリエイティビティはあるが、その担い手となるクリエイティブクラスは都心より郊外に偏在している。関西のメガリージョンの都市力強化のためには、都心と郊外の両方で創造産業の育成を担うクラスター、及び、その核となるシンボル施設の整備による顕在化が必要である。

● [成熟型を目指す]

世界的潮流の中では「都市」という捉え方は意味を失いつつあり、「都市圏＝メガリージョン」という捉え方が重要である。関西におけるメガリージョンとしては中国で見られるような成長型メガリージョンとは一線を画し、成熟型メガリージョンの選択肢がふさわしい。

● [多核性を生かす]

関西のメガリージョンは世界の様々なメガリージョンのタイプの中でも、「E.Uタイプ」のような多核性が特徴であるため、各都市の個性強化とともに、都市間の連携とネットワークを強化する戦略立案がふさわしい。

● [物流・人流インフラを連携する]

国際的な都市力向上のためには、大阪、京都、神戸の三都それぞれの都市力向上に加え、メガリージョンとして統合したマーケティング、および戦略立案を行う「一体的経営」の視点が必要である。特に物流・人流インフラの連携が重要である。

● [情報発信力を高める]

関西のメガリージョンはクリエイティビティが強みであるが、情報発信力が弱いため、現在は潜在している。関西のメガリージョンの強みを活かすために、統合的プロモーションなどによる国際的な認知レベルでの情報発信力を高める必要がある。

3. 海外事例視察で得られた都市力強化戦略

当研究会では、国際都市力強化の参考とするため海外事例都市の視察を行った。
視察概要、報告は別冊の視察報告書にまとめているが、本章では、視察で得られた知見を整理し、
関西のメガリージョンの都市力強化のシナリオ構築に役立てる。

海外事例都市を視察し得られた知見の整理

1) 海外事例都市のビジョン、戦略、体制

	LIVERPOOL / リバプール	BIRMINGHAM / バーミンガム	LONDON / ロンドン	DUBAI / ドバイ
				
1. ビジョン	リバプールをヨーロッパの主要都市とする	ビジネス・コンベンション都市	都市政策「ロンドンプラン」の明示： グローバルシティとして成功を続けるための経済発展戦略	ポスト石油を睨んだ中東のハブ都市づくり
2. 戦 略	<ul style="list-style-type: none"> 都心部に都市開発を集中 都心部に近い港湾機能の刷新 世界遺産地区との融合（旧世代開発アルバートドックとリンクする新規開発） 2008年欧洲文化首都といった国際的イベントや世界遺産（元来ビートルズによる国際的知名度あり）による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 都心部に都市開発を連続的に実施 複数の重要都市開発を歩行者ネットワークで徹底的につなぎ、寸断された中心市街地（治安の悪化）に歩行者を呼び戻す 斬新なデザインのブルリングSCと古い教会の新旧対比 	<ul style="list-style-type: none"> ミレニアムプロジェクトはシティ・サザーク地区に集中 2012年オリンピックを中心とする東部エリアでの集中開発と地域の移民格差問題是正 ヒースロー空港とパディントンウォーターサイド開発、ユーロスターとキングスクロス開発など国際的インフラと都市開発を組み合わせる 旧発電所施設をテートモダンミュージアムにリニューアル、大英博物館グレートコートによりイメージと機能性を一新するなど新旧対比 	<ul style="list-style-type: none"> ジュベルアリ港とフリーゾーン、将来は巨大空港も連結するなどインフラと大規模開発を組み合わせる 世界最高高さの建築物（ブルジュ・ドバイなど）、7つ星ホテル（ブルジュ・アル・アラブ）、奇抜な埋立地（パームジュメイラなど）など閾値を超えた施設による情報発信
3. 体 制	<ul style="list-style-type: none"> RDA（地域開発公社）、EP（補助金管理）、市によるパートナーシップ 2000年作成の10年戦略を確実に推進 	<ul style="list-style-type: none"> バーミンガム市のリーダーシップ デベロッパー、市民、民間部門専門家との協業 	<ul style="list-style-type: none"> リビングストン元市長（2期8年）およびGLAのリーダーシップ パディントンウォーターサイドにおける17のデベロッパーによるパートナーシップ 	<ul style="list-style-type: none"> シェイク・モハマド・ビン・ラシッド首長のリーダーシップと、明確なビジョンに基づく実行力 周囲の予想をはるかに上回るスピードで開発を実行

都市力強化のためには、国際的水準を見据えたビジョン・戦略・体制の3つが明確であること

2) 海外事例都市に見られる戦略思考

海外事例を通じて、視察した都市は「国際レベルの目標を設定し、戦略思考に基いて競争力のある都市再生を実現させている」ことが分かった。

戦略思考とは次のようなステップを踏んでいる。

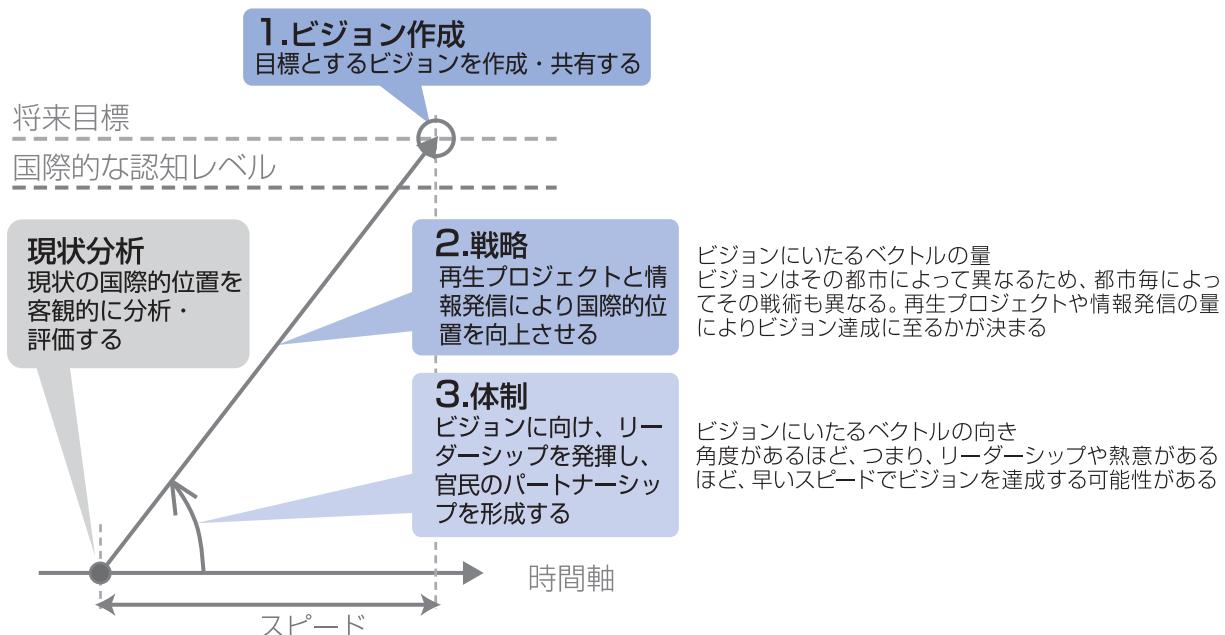
まず、都市および都市圏の現状分析を行っている。単なる内部要因分析に留まらず、国際的視点にたって都市の位置を客観的に評価・分析していることが重要となる。

次に、「ビジョン（目標）」を作成している。ビジョンは国際的な認知レベルを意識し、それを超えたものである必要がある。そして単に作成するだけでなく、関係者が共有できるようにしている。

次に、ビジョンを実現するための「戦略」を立てている。戦略には再開発やインフラ整備などの再生プロジェクトと、地域マーケティングや地域全体で行うプロモーションなどの情報発信の両方が含まれる。

最後に、ビジョン達成に向けた戦略を実行する「体制」が必要となる。体制には強いリーダーシップの発揮と、官民のパートナーシップが重要となる。

このビジョン、戦略、体制の3つが十分に機能することで、スピード感のある都市再生が実行され、都市力の強化に繋がっているのである。



計画機能に特化した体制 専門性高い人材を公募

1) ロンドンの都市再生推進体制

■ GLAの特徴

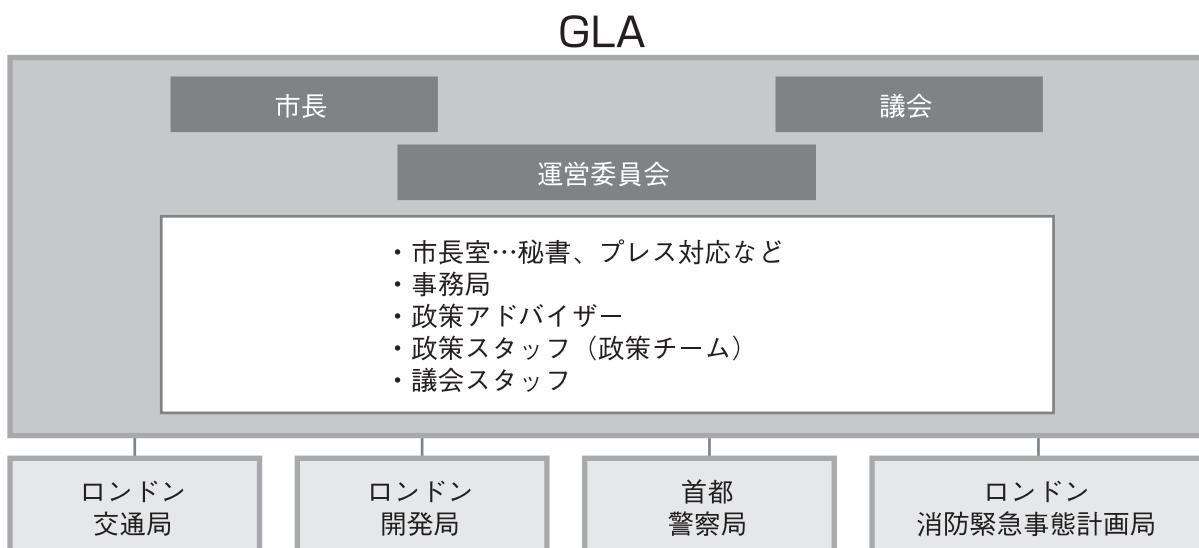
- ①計画策定機能に特化し、住民サービス機能を持たない
(交通・開発・警察・消防は下部組織として設置)
- ②市長とそのブレインによりトップダウンで意思決定
(都市再生、環境などの専門家を政策アドバイザーとして起用。市長の迅速な意思決定を支援)
- ③政策課題ごとに政策チーム設置
(政策課題ごとに政策チームを形成。政策が変われば柔軟に再編)
- ④専門性の高い人材を公募で採用
(政策課題ごとに新たな人材が必要であればその都度公募)

■ GLA設立経緯

- ・1986年サッチャー政権によりGLC (Greater London Council) 廃止。以降33区のみで代表する自治体がない状態が続いた。
- ・新自治体制度について、「職員数250～300人、年間予算2000万ポンド程度の小規模で柔軟な組織」とする民間コンサルタント会社の提案を採用。
- ・2000年ブレア政権によってGLA設立。

■ GLA体制

- ・市長…イギリスで初めての公選市長。GLAの政策決定、予算編成、職員選任に強い権限を有する。ケン・リビングストン市長が初代・第2代を務める。
- ・議会…市長に対する監査機能。市長決定に対し代替案を提示できるが、市長に採用義務がないなど、日本の地方議会に比べ権限は限定的。
- ・GLA本部…市長の政策形成機能、議会の監査機能を支援する。
- ・外部機関…左記4つが下部組織。



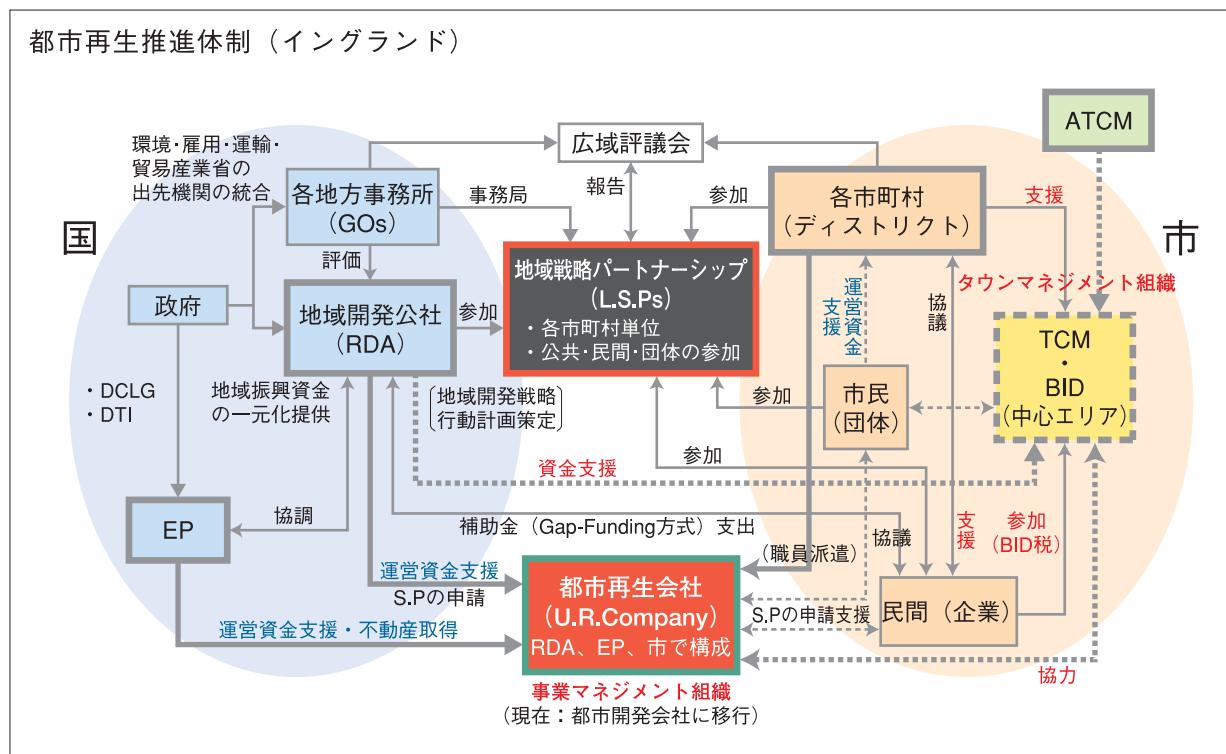
3章

海外事例視察で得られた都市力強化戦略

3-2 体制の例：英国の戦略的都市再生体制

戦略立案機能と戦略実施会社が分離 パートナーシップにより専門力を集結

2) リバプールの都市再生推進体制



- ・地域戦略を公共・民間・各団体参加のパートナーシップで立案。各分野の専門性を生かす。
- ・都市再生会社が都市戦略に基づく開発を実行。

※上図略称の正式名称は下記の通り

EP	English Partnership
ATCM	Association of Town Center Management
TCM	Town Center Management
BID	Business Improvement District

SP
DCLG
DTI

Single Program
Department of Community and Local Government
Department of Trade and Industry